

鳥取の年中行事について ～すこやかな成長を願う～



とっとりデジタルコレクション収録、『用瀬のひな送り（流しびな）』。CC BY
https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/search/detail?cls=muse_c209&pkey=04206

高校生向け（幼保教育、福祉学科等）/
社会、家庭科



とっとりデジタルコレクション収録、『岩坪神社の秋祭り、岩坪神社獅子舞』。CC BY
https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/search/detail?cls=muse_c209&pkey=02105

鳥取県立博物館資料

年中行事にはこどもの成長を
祝うものがたくさんある

鳥取県ではどんな行事をおこなっているだろう？

十三参り

正月13日

八頭郡智頭町市瀬下在

13才になると、津山市の一宮、虚空蔵菩薩にお参りする。

とっとりデジタルコレクション

「十三参り/鳥取県立博物館」

https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/search/detail?cls=muse_c209&pkey=07403

「鳥取中部初 十三参り」

https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/search/detail?cls=lib_c101&pkey=0061899

用瀬のひな送り（流しびな）

旧暦3月3日（平成20年4月8日）

女の子のある家では赤い毛氈を敷いた雛壇を設け内裏様を中心とした三人官女・五人囃子などの雛様を並べ、桃の花、タニシ、クワイ、ワケギ、白酒、お入りをお供えする。子どもたちは「ひなあらし」といって「ひな流し」をする前に供物をいただく。当日午後、千代河原で祈祷神事、古い雛人形に感謝のお祓いお焚き上げ神事後、「ひな流し」が始まる。男女一対の紙雛をさん依にのせ桃の小枝を添え、災厄を託して流す。無病息災で一年間幸せに生活できますように願う行事である。

とっとりデジタルコレクション

『用瀬のひな送り（流しびな）』・CC BY

https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/search/detail?cls=muse_c209&pkey=04206



「鳥取県立博物館所蔵資料」

ししまい

4 麒麟獅子舞の行われる時期と場所

多くは春と秋に、神社の祭礼において、神前で本舞を奉納するほか、氏子の家々を門付けしてまわります。そのため、**3月から7月、9月から11月にかけて、様々なところで麒麟獅子舞を見ることができます。**祭りになると、獅子に頭を噛んでもらう習慣が根付いており、**子どもは賢くなり**、大人は1年間無病息災だと言い伝えられています。

鳥取市公式ウェブサイト

「因幡・但馬の麒麟獅子舞のご紹介」より引用

<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1491276549763/index.html>

